

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専 門 分 野	授 業 の 方 法	演 習	
科 目 名	国家試験演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年		学期及び曜時限	後期	教室名	803	
担 当 教 員	椿原 一郎						
実務経験と その関連資 格	作業療法士として身体障害系病院で勤務。対象者の退院に向け、治療や動作指導などを実施。 現場や学校で学生指導に当たる。						
《授業科目における学習内容》							
骨模型を使用し、前期で習得した骨指標から、骨格筋の付着部と、走行、働きを理解していきます。表層筋については、実際に触診しながら関節の動きと関節の運動方向を確認していきます。これらの知識から、国家試験の過去問題を解いていながら、試験の傾向に慣れていきます。確認テストを行い、理解を深めていきます。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験：50% 小テスト：50%							
《使用教材（教科書）及び参考図書》							
教科書：PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学、標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 解剖学、基礎運動学							
《授業外における学習方法》							
基礎運動学の教科書使用して筋の起始・停止、神経支配、作用を復習してください。							
《履修に当たっての留意点》							
本講義は前期で学習した解剖生理学-骨格・関節・筋系などの知識をもとに、主に骨格筋に関して国家試験問題が解けるようになるための手段を学んでいきます。骨格筋の働き、走行、支配神経など関節の動きをイメージしていながら学んでいきます。							
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	骨格筋の構造を理解する。		教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の構造を復習しておく。		
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション。筋解剖 骨格筋の構造①					
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	骨格筋の構造を理解する。		教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の構造を復習しておく。		
	各コマに おける 授業予定	筋解剖 骨格筋の構造②					
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	骨格筋の生理作用について理解する。		教科書、配布資料	生理学、基礎運動学の教科書を使用して筋生理学を復習しておく。		
	各コマに おける 授業予定	筋解剖 骨格筋の生理作用①					
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	肩甲帯の骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。		教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。		
	各コマに おける 授業予定	筋解剖 肩甲帯にある骨格筋群、小テスト					
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	上腕を走行する骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。		教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。		
	各コマに おける 授業予定	筋解剖 上腕を走行する筋群①、小テスト					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	上腕を走行する骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 上腕を走行する筋群②、小テスト		
第7回	授業を通じての到達目標	前腕の前面を走行する骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 前腕の屈筋群、小テスト		
第8回	授業を通じての到達目標	前腕の後面を走行する骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 前腕の伸筋群、小テスト		
第9回	授業を通じての到達目標	手指に関わる骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 手の筋①、小テスト		
第10回	授業を通じての到達目標	手指に関わる骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 手の筋②、小テスト		
第11回	授業を通じての到達目標	大腿の前面、後面に骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 大腿前面、後面の筋、小テスト		
第12回	授業を通じての到達目標	大腿の後面に骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 大腿後面の筋、小テスト		
第13回	授業を通じての到達目標	大腿の内側筋に関わる骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 大腿内側の筋、小テスト		
第14回	授業を通じての到達目標	下腿の前面、外側を走行する骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 下腿の前面、外側の筋、小テスト		
第15回	授業を通じての到達目標	下腿の後面を走行する骨格筋の起始・停止、神経支配、作用を理解する。	教科書、配布資料	解剖学、基礎運動学の教科書を使用して骨格筋の走行などを復習しておく。
	各コマにおける授業予定	筋解剖 下腿の後面の筋、小テスト		